

令和元年度 豊中市総合計画審議会第二部会 第2回会議 議事要旨

- 日時 令和元年(2019年)10月18日(金)18時~20時
場所 第二庁舎3階大会議室
出席者 加藤部会長、水上委員、壬生委員、宮前委員、中塚委員
計5名
事務局 都市経営部経営計画課：榎本、寺田、坂本、田中、島、上田
案件 1. 前回の振り返り
2. 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて
3. その他
資料 資料1 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果
資料2 令和元年度第1回豊中市総合計画審議会第二部会の主な意見
参考1 第4次豊中市総合計画(本編)
参考2 第4次豊中市総合計画(概要版)
参考3 令和元年度第1回豊中市総合計画審議会第一部会の主な意見

会議録 下記のとおり

1. 開 会 (開会)

事務局：

- ・ (成立要件の確認)

事務局：

(配布資料確認)

2. 案件1「前回の振り返り」

部会長：

- ・ 「前回の振り返り」を事務局からお願いします。

事務局：

- ・ (前回の第二部会で出た意見をまとめた資料2をもとに説明)
- ・ (前回の第二部会で出た質問について回答)

部会長：

- ・ ただいまの説明について、ご質問・ご意見はございませんか。

委員：

- ・ P72 の 4 つ目の指標「人権問題事業者学習会の参加人数」について説明いただき、2022 年度目標値が 2018 年度より減る理由はわかりました。しかし市民に分かりやすくという観点では、なぜ減るのがわからないので、減る理由をどこかに書いておいた方がいいと思います。
- ・ 同様のことが他にも見られます。例えば P73 の 1 つ目の指標「男女共同参画を推進する学習講座数」、4 つ目の指標「市の男性職員の育児休業取得率」、P74 の 4 つ目の指標「国際交流センターにおけるイベント・講座への参加者数」があります。これらも理由があつて下がっていると思いますが、その理由をわかるようにした方がいいと思います。

部会長：

- ・ 目標値は絶対値ではなく、回数を増やすことで参加者を増やすことが目標なのか、予算の関係等で 1 回しかできないが、その 1 回で集中して施策を展開する方向にもっていくのかといった行政方針があると思います。そのあたりまで含めて P D C A の今後の方針の部分に書くべきだと思います。単に文章を読んだらおかしいと感じるので、別の指標を考えたかどうかという議論をするよりは、目標値の正当性を説明する方がより生産的であるというご意見だと思います。
- ・ 資料 2 の書き方で「検討してはどうか」という表現を使っていますが、参考 3 では使っていないので、「検討した方がよい」などと統一した方がいいと思います。

委員：

- ・ 前回の部会後に、もう一度全体を読み直しましたが、シートの中に、担当者が当事者ではなく傍観者のような表現をしているところが見受けられました。担当者が達成しようと頑張っている意欲がわかるような書き方をしてほしいと思いました。

部会長：

- ・ 成果や今後想定される事項の部分は、客観的な書き方になりがちですが、今後の方針の部分はそうあつてはならないというご意見です。
- ・ 具体的にはどのページになりますか。

委員：

- ・ P65 の問題点・今後想定される事項の 4 つ目の○で「見極める必要がある」とありますが、何を見極めるのかももう少し踏み込んで書いてもいいと思いますし、5 つ目の○で「関係機関や地元住民との協議が必要です」とありますが、この協議は何年も前から行っているので現在どのような状況なのかを具体的に書いてもいいと思いました。

委員：

- ・ 同様のところはほかにもあると思います。例えば P70 の問題点・今後想定される事項の 2 つ目、3 つ目の○でも「必要です」とありますが、必要だから書いているはずなので「環境整備を進めます」「連携を強化します」と言い切つていいと思います。

部会長：

- ・ 問題点・今後想定される事項の書き方に問題があるというご指摘です。第三者的な書き方になっているというご指摘ですが、私は、問題点はそう書かざるをえないと思います。それを受けて、今後の方針もしくはPDCAをチェックする仕方としてもう少し主体性をもった書き方が望ましいということになると思います。
- ・ 先ほどの空港の活性化の部分では、活性化の内容をもう少し書いていただければと思います。
- ・ それでは案件2「2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて」事務局から説明してください。

3. 案件2「2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて」

事務局：

- ・ (本日の部会の進め方の説明)

部会長：

- ・ 先ほど事務局から説明がありましたように、まず残りの第4章-2と第4章-3のシートから見ていきます。

(第4章-2「市民文化の創造」シート(P28)について)

委員：

- ・ 文化芸術センターができましたが、各ホールの稼働率はわかりますか。

部会長：

- ・ P75の指標には「市民ホールの利用率」はあります。

委員：

- ・ 市民ホールの利用率は文化芸術センターだけを指すのですか。

事務局：

- ・ 市民ホールは、文化芸術センター以外のローズ文化ホールも含まれます。文化芸術センターだけの利用率は担当課に確認します。

委員：

- ・ P75に音楽月間事業がありますが、これは「音楽あふれるまちとよなか」を目指す事業の一つだと思います。「音楽あふれるまち」というのであれば、音楽月間だけでなく、1年を通して市の施設で何かしらの事業を行っていることをPRすべきですが、そこが見られないと思います。

部会長：

- ・ 市民文化の創造ということで、何に力を入れているかがわかりにくいと思いました。
- ・ 施策の方向性シートについては具体的でしっかり書いていると思いました。今後の方針でも具体的に目標を書いています、それが施策シートでは表現されていません。

委員：

- ・ 施策の方向性シートに書いてあることが、施策シートに書かれておらず、いきなり出てきた表現もあり関連性がよくわからないと思いました。

委員：

- ・ せっかく施策シートと施策の方向性シートが1対1で対応しているのに、つながりが見えにくいと思いました。
- ・ P75のシートを見ると、「イベントを今後実施していくにあたり、自然災害等への対応マニュアルが必要です」とあります。これは市民が気になる部分だと思いますが、今後の方針や施策シートには何も書かれていません。どういう扱いをしていこうと考えているのか書くべきだと思います。近年、自然災害が増えているので、市民はこういうことは早く作ってほしいと考えているのではないのでしょうか。

部会長：

- ・ 京都は早い段階から、貴重な文化財があることから防災への意識が高いです。豊中市でも貴重な文化財はあると思いますので、考えてみてください。

委員：

- ・ せっかくPDCAのCまで行っているのに、次につながっていないのはもったいないと思います。

委員：

- ・ 読んでいて、施策シートと施策の方向性シートでは書いている人が違うように感じました。

部会長：

- ・ 書く人が違うことは問題ありません。ただし整合性はとる必要があります。
- ・ 市民の意識の「文化的なまちであると感じている市民の割合」の数値が低いと思いました。文化施設等の整備率も高ですし、イベントもたくさんしています。また文化芸術センターの利用率も高いことから、地元の文化活動をしている人が多いと思います。市民の意識の数値を上げるについて記述してもよいと思います。
- ・ それでは次のシートに移ります。

(第4章-3「健康と生きがいがづくりの推進」のシート(P29)について)

委員：

- ・ P76 の指標を見たときに、1つ目から3つ目までが図書館の指標で、年間利用者数・貸出冊数・個人登録者数と内容も似ていると思いました。もっと多角的な指標を選んだ方がいいと思います。公民館の指標も同様です。
- ・ 図書館での「市民サポーター」の事業など珍しいと思いますので、この数値を入れてもいいと思います。当たり障りのない数値だけではもったいないと思います。
- ・ ここでも施策シートと施策の方向性シートの書きぶりが一致していないので、関連付けて書く必要があると思いました。

委員：

- ・ 昨年度の審議会でも出ていましたが、指標を組み合わせることの意見も出ていました。組み合わせることで効果を発揮するような指標も考えてもいいと思います。

部会長：

- ・ 「生涯を通じた学びの機会」の代表的な施設として図書館と公民館があります。生涯という社会教育のイメージがあり、社会教育というと女性・高齢者と多岐にわたります。しかし一般的に75歳以上の健常高齢者の男性の生涯教育の施策が抜けているように感じます。健康に対する施策は充実してきていますが、生涯学習の点では不十分であり、図書館等のサービスを充実した方がいいと思います。

委員：

- ・ P76 の指標で「貸出冊数」とありますが、年代ごとでどう違うのか、住んでいる地域でどう違うのかなどをいろんな角度から分析をして、それを成果や問題点に書いた方がいいと思います。そうすることで、よりPDCAがまわしやすくなると思います。なぜこの今後の方針を書いたかの根拠にもなりますので、いろんな角度から分析をしてみてください。
- ・ 図書館の指標に関しては似たようなものが出ているので、そこは置き換えた方がいいと思います。影響度の大きかった事業も参考にしながら、1年間事業をすることで、課題がどんなふうに変ったのかを説明しやすい指標を考えてみてください。

部会長：

- ・ 教育委員会の施設で指定管理に出しているものはありますか。

事務局：

- ・ 図書館や公民館は市で運営しています。青少年自然の家は指定管理者制度を導入しています。

委員：

- ・ 市民は健康には意識が高いですが、生涯学習になると少し下がるように感じます。

部会長：

- ・ 大学と地域が連携して図書館開放を始めていますので、大阪大学等と連携してもいいと思います。

事務局：

- ・ 豊中市でも中央図書館構想が検討されていて、来年度に方向性が出る予定になっています。

委員：

- ・ 緑地公園などでは毎朝高齢者の方がラジオ体操をされています。これに関連するような指標があってもいいように思いました。測ることが難しいと思いますが、検討してみてください。

事務局：

- ・ P77 の指標の 2 つ目に「市内スポーツ施設の利用者」がありますが、これもどういう年代の人が利用しているのかを分析したりできると思いますので、担当課にフィードバックします。

委員：

- ・ P77 の指標の 1 つ目に「市内で実施された食育の取組み事業数」とありますが、これは子どもを対象にした事業だけでとっているのですか。食育の中身や「197」という数値がどのようにとっているのかが気になります。

事務局：

- ・ 担当課に確認します。

部会長：

- ・ 第 3 期豊中市食育推進計画を平成 30 年度に策定され、目標達成に向け取組みを進めると思いますが、2022 年度の目標値は維持でいいのでしょうか。2018 年度の数値程度で問題ないと読めてしまいます。しかし今後の方針では、充実させるニュアンスで書いているようにも感じます。

事務局：

- ・ 計画との関係については担当課に確認します。

委員：

- ・ P77 の問題点・今後想定される事項の 3 つ目の○で「体操の自主グループの増加に伴い専門職の支援も増加するため、今後のフォロー体制を検討する必要があります」とありますが、支援を増加するという意味がわかりません。また今後のフォロー体制もわかりません。わかりやすい記述を心掛けてほしいと思います。

委員：

- ・ とよなかパワーアップ体操はどんな事業なのでしょうか。

事務局：

- ・ 介護予防に特化した体操です。高齢者の下肢筋力を向上させて転倒予防につなげる豊中市独自の体操です。

委員：

- ・ 「高齢者を対象とした」という文言があれば、意味が伝わりやすくなると思います。

部会長：

- ・ 88 か所を増やしていく方向性はあるのでしょうか。

事務局：

- ・ 担当課に確認します。

部会長：

- ・ 以上で、第二部会で担当するすべての施策シートを見たことになります。第3章、第4章の施策シートで言い足りなかった部分があればお願いします。
- ・ P27 の市民の意識の数値が少し低いことが気になります。アンケートのとり方は難しいと思いますので、これに対する今後の方針を総合評価の理由に書いてもいいと思います。
- ・ 市民意識調査は施策をしたからといって、すぐに反映されるものではありませんが、2021年度までの数値を施策シートに載せるのであれば、市民の意識に対するコメントがあってもいいと思います。

委員：

- ・ P72 の指標でも相談件数が3つと事業者向けの学習会の指標が1つです。人権文化の創造を進めるのであれば、広く市民向けの啓発講座についての指標など、もう少し俯瞰的な視点での指標もあっていいと思います。
- ・ 市民の意識が38%であることを考えると、相談件数だけでなく、市民向けの啓発講座の数や参加者数といった指標も必要だと思います。

部会長：

- ・ 豊中市としてはいろいろな事業をしていると思いますが、市民の意識を見ると、それが伝わっていないように見えてしまうので、もったいないと思います。

事務局：

- ・ 問題点・今後想定される事項の1つ目の○では「より効果を発揮できる人権啓発事業を検討する必要があります」と書いてあり、今後の方針にも書いてありますので、担当課としても課題に感じていると思います。

委員：

- ・ その問題意識は他市でも感じていることだと思います。これまで人権施策でこの意識をもっていない市はないと思いますので、総括的に測るという視点で指標を考えてもらいたいと思います。

委員：

- ・ 豊中市がどんなところに力を入れているかを見るときに、市民はこの政策評価の冊子全てを見ないと思います。私が一市民としてみるとしたら簡単に見ることができるところだけを見るので、まず数値で表している市民の意識を見ます。次に市民の意識の数値が高いところと低いところの施策シートとそれに紐づく施策の方向性シートを見ます。例えば P26 だと市民の意識が 16.5%で低いので、施策シートと施策の方向性シートを見にいけます。施策の方向性シートは P69、P70 ですが、P70 は他の施策の方向性シートに比べると指標や書いている内容が少ないと感じます。これは P27 の市民の意識でも同様です。つまり、市民の意識が低いところは施策の方向性シートの内容が薄く、豊中市として弱い部分なのかと感じてしまいます。そういう見方をする人もいることを意識して文章の量にも気をつけていただきたいと思います。

委員：

- ・ 市として、暮らしの舞台と産業を両立することは難しいことだと思います。市として様々な施策を行っていると思いますが、その中で産業を考えた時に子育て・教育などと比べると少しパワーが落ちると思います。市の特性があり、それが市民の意識にも現れているのかもしれない。

部会長：

- ・ 豊中市は住宅都市と言われていますが、工業地域があり、空港もあります。そういう意味では産業を活性化できると思います。
- ・ P26 の 2 つ目の○には「専門的な知識を有する支援機関等と連携して支援を行います」とありますので、商工会議所との連携などを具体的に書いてもいいのかもしれない。

委員：

- ・ 現在使われている指標は、数値の部分に何千、何万を入れているものがありますが、人数が多くわかりにくいです。ものによっては市民一人当たりや登録者一人当たりといったふうにした方が見やすいし、わかりやすいと思いますので、見せ方を検討してほしいと思います。例えば、38 万人という数値が入っているところで、それが 38 万 1000 人になったからどうなのかは説明しづらいのではないのでしょうか。
- ・ 指標の目標値について、数字が入っている場合にその数値を増やしたいのか、それとも最低ラインの数値なのかがわかりません。累計件数についても指標名に書いてあるものはいいですが、そうでない場合にどういう目標なのかをどこかに書いておかないと、誤解を生むことになります。

- ・ 審議会の役割で、「PDCAサイクルがまわっているかの検証」がありますが、今年1度は年目なのでわかりにくい部分が多いと思います。来年度以降は今年書いたことをふまえて、具体的に何をしたか、どのような効果があったのかを審議会で聞いていくことになると思いますので、説明できるように具体的な取組みを書いたり、その取組みの効果を示せるような指標を選ぶなどしておく必要があります。

部会長：

- ・ 指標については、単に絶対数だけで測るようなことがないようにというご指摘です。
- ・ 来年以降成果を書くときは、経年変化を意識しながら書く必要があると思います。去年に比べて今年はこれだけの成果があるというような書き方をしてほしいと思います。逆に言えば、去年と同じだけの成果は維持と変わらないということです。基本的に目標は増加になることが多いと思いますので、成果の書き方のところで昨年の実績と比べてどうかという視点を入れて書くことで、PDCAの評価によりつながると思います。
- ・ 委員の皆さまから様々なご意見をいただきましたので、事務局で次回全体会までにまとめてください。

4. 案件3「その他」

事務局：

- ・ 連絡事項を1点説明します。
- ・ 次回の第2回全体会は11月15日(金)18時から、場所は第二庁舎3階大会議室になります。

部会長：

- ・ ただいまの説明についてご意見・ご質問はございませんか。
- ・ 第1回豊中市総合計画審議会第二部会をこれで閉会します。

以上